



令和 6 年度

上里町農業集落排水事業決算審査意見書

上里町監査委員

1. 審査の期日

令和7年7月18日（金）

2. 審査の主眼

- （１）審査に付された令和6年度上里町農業集落排水事業決算書、財務諸表、その他附属書類は適正に作成され、決算計数は会計諸帳簿と符合し正確であるか。
- （２）事業の経営実績と財政状態を明瞭適正に表示しているか。
- （３）予算の執行並びに事業の経営管理は、地方公営企業法第3条に規定される経営基本原則に基づき、適正かつ効率的に運営されているか。
- 以上に主眼をおいて審査を実施した。

3. 審査の方法

決算審査にあたっては、関係職員の出席を求め、決算内容について説明を聴き、また、決算関係書類と総勘定元帳、関係補助簿等を照合するとともに、例月出納検査、定例監査の実施結果を参考として審査を実施した。

4. 経営の概要について

○業務実績について

事 項	令和6年度	令和5年度	比 較	増減率(%)
(年度末) 行政区域内人口（人）	255	257	△ 2	△ 0.8
(年度末) 水洗化人口（人）	171	177	△ 6	△ 3.4
年間汚水処理量（m ³ ）	15,123	15,823	△ 700	△ 4.4
一日平均汚水処理量（m ³ ）	41.4	43.4	△ 2	△ 4.6

5. 決算報告書について

①収益的収入及び収益的支出

収 入

（単位：円）

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に比べ 決算額の増減額	執行率 (B)/(A)	備 考
事業収益	12,723,000	12,365,404	△ 357,596	97.2%	うち仮受消費税及び地方消費税 204,730

支 出

（単位：円）

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)	備 考
事業費用	15,553,000	14,244,539	1,308,461	91.6%	うち仮払消費税及び地方消費税 475,328

収益的収入及び収益的支出の決算額は、予算額に比べ収入において、35万7,596円の減収となり、支出は130万8,461円の不用額を生じている。

②資本的収入及び資本的支出

収 入

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に比べ 決算額の増減額	執行率 (B)/(A)	備 考
資本的収入	8,288,000	7,088,000	△ 1,200,000	85.5%	

支 出

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)	備 考
資本的支出	8,314,000	7,022,556	1,291,444	84.5%	うち仮払消費税及び地方消費税 65,400

資本的収入及び資本的支出の決算額は、予算額に比べ収入において120万円の減収となり、支出は129万1,444円の不用額を生じている。

③経営状況について(税抜)

・収益的収入の主なものは

○営業収益では、処理施設使用料204万7,310円である。

○営業外収益では、長期前受金戻入の508万8,332円である。

・収益的支出の主なものは

○営業費用では、減価償却費648万6,272円である。

○営業外費用では、企業債利息78万297円である。

この結果、事業収益は1,182万4,676円で、事業費用は1,376万9,211円となっている。

6. 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表及び付属書類はいずれも関係法令に準拠されて作成されており、計数も会計諸帳簿と符合し正確であり、令和7年3月31日現在における財政状況を適切に表示しているものと認められた。

事業決算としては、事業収益が1,182万5千円に対し、事業費用は1,376万9千円となっている。

また、損益計算としては純損失が194万5千円生じており、当年度未処分利益剰余金はマイナス194万5千円となっている。

償還金と償還原資のバランスについては、企業債の残高は5,409万7千円であり、この償還原資は有形固定資産等の5,271万3千円となっている。当該事業年度においては、企業債償還額630万3千円に対して、減価償却費等は144万3千円となっている。

農業集落排水事業は令和6年度から公営企業化され、排水処理施設及び管路施設の適切な維持管理に取り組んでいるが、接続戸数68世帯、特別会計から引き続き、接続人数においては171人で、前年度に比べても接続戸数は変化がない状況である。

引き続き、農業集落排水地域の生活環境の改善を図るとともに、農業用水域の水質保全のため持続可能な事業運営をお願いしたい。